

日本全国に五千社！

あなたの

近くにも

熊野神社が…



熊野那智大社

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の深遠さを感じさせる熊野三山のたえずまい。熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社と、そこに至る祈りの道・熊野参詣道は、古代から多くの人を引きつけてきた。その熊野の神を祀った熊野神社は全国に五千社ともいわれ、熊野は地域の情報発信の最初の成功例と言えるかもしれない。

「熊野御幸」

藤原定家は「こりごり」？

「終日、嶮岨を超え、心中夢の如



し。二二〇一(建仁元年)十月二十日、後鳥羽上皇の熊野御幸に随行した歌人、藤原定家は、難所の雲取越を雨の中、意識もうろう状態で歩いたことを、「後鳥羽院熊野御幸記」に書き残している。後鳥羽上皇は二十八回も熊野を訪れているが、定家はこりごりだったのか、この後熊野を訪れた記録はない。

都から片道三百里を超える道中、相撲見物や和歌会などの娯楽が催され、上皇や法皇にとっては楽しみも多かったようだ。平安中期から鎌倉時代にかけて、約百回も熊野御幸が行われたのは、信仰

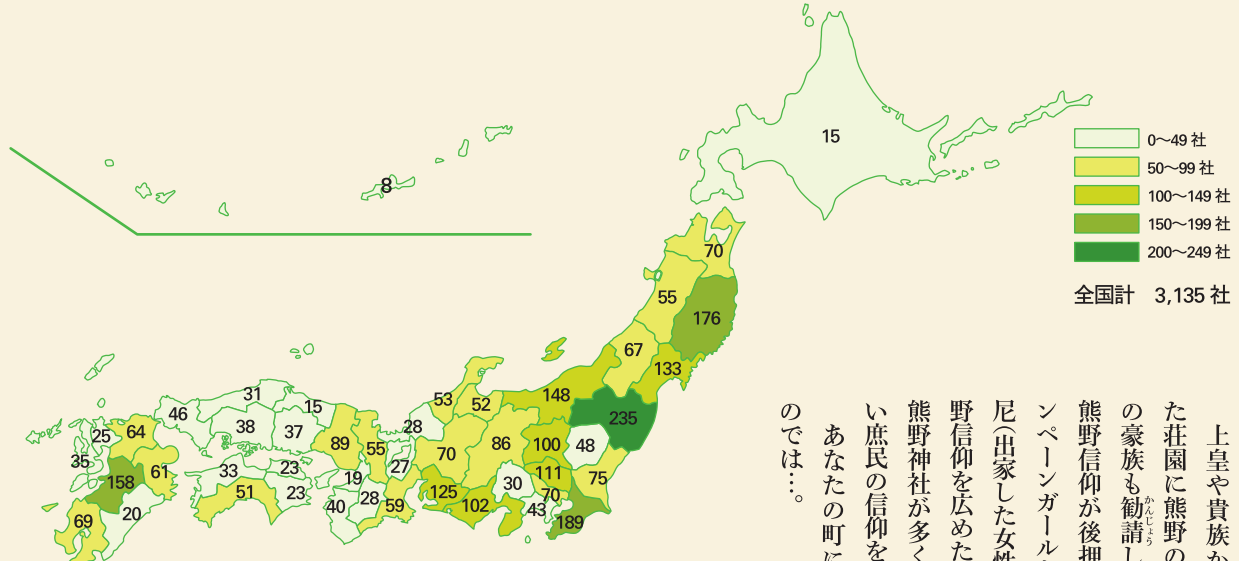
心だけでなく、観光の面もあったのではないだろうか。

熊野比丘尼は

キャンペンガール。

熊野の神々が全国へ

室町時代になると、庶民の熊野参詣がブームになり、人々が切れ目なく歩くさまが、「蟻の熊野詣」と呼ばれた。庶民の経済力が上り、宿泊施設の整備も進んだらしい。熊野三山協議会(会長・新宮市長)の調査では、全国に熊野神社は三千百三十五社が確認されている。



全国の熊野神社分布図 (熊野三山協議会調べ)



高層ビルに囲まれている新宿熊野神社

他の神社に合祀されたり、お社だけというケースも含めると、全国に五千社ということになる。上皇や貴族から熊野に寄進された荘園に熊野の神々が祀られ、地方の豪族も勧請したが、やはり庶民の熊野信仰が後押しした。熊野のキャンペンガールとも言える熊野比丘尼(出家した女性)が全国を歩いて熊野信仰を広めた。関東、東北や九州に熊野神社が多く、熊野詣で行けない庶民の信仰を集めたのだろう。あなたの町にも熊野神社があるのでは…。

都庁も歌舞伎町も 熊野神社が総鎮守

新宿熊野神社(正式名称は新宿十二社熊野神社)は、西新宿、新宿駅周辺や歌舞伎町を含む繁華街の総鎮守だ。都庁横の新宿中央公園に隣接、高層ビルに見下ろされるが、ひっそりと建つ社殿は、都会の真ん中とは思えない風格をたたえている。

新宿熊野神社を室町時代に創建したのが、実家が紀州藤白の神官を

務める家柄だった鈴木九郎という人物。熊野の神を祀ったことにより家運が上昇し中野長者と呼ばれる資産家になった、という。

ところで元々の新宿熊野神社は、新宿西口の高層ビル群を含む一帯が境内で、江戸時代には池があり滝があり料亭もあったという一大リゾート地帯でもあったらしい。最近では、新宿副都心建設やバブル期の地上げにより、民家が減り「お宮参りや七五三もあまりなくなりましたね。代わって、企業のお参りが増えていきます。周辺のホテルに泊まっている外国人の参拜も多いです」と伊藤孝夫宮司。しかし今でも例大祭は盛大に行われ、千人もの氏子が御輿をかついで甲州街道を練り歩く。

他に、家康の十男・頼宣も今の赤坂御所に熊野の神々を祀っているし、青山などにも熊野神社がある。都電荒川線には「熊野前」という駅もあり、江戸にも熊野の神々は勧請されていた。

熊野。遙か彼方の紀伊半島のこの森は、一方で何千年もの間静寂に包まれ、そしてもう一方ではその不思議に帰依した人々によって全国各地へと浸透していった。あなたのお近くの熊野神社を訪れ、歴史に思いをはせてはいかがだろうか。(紀野博)

鈴木姓のルーツは和歌山

新宿熊野神社もそうだが、全国の熊野神社は鈴木さん一族が造ったと言い伝えられている。ちなみにこの日本で最も多い姓のひとつが鈴木さん。そのルーツは神武東征という神話の時代にさかのぼる。神武天皇が熊野から吉野上ってゆく途中、ひとりの男が神武に稲穂をプレゼントしたところ、「穂積」という姓を与えられたという。収穫を

終え、田んぼに積まれた稲穂を穂積といい、熊野地域ではこれを「ススキ」と呼んでいたことから、後に鈴木という姓が誕生した。その鈴木さんは、和歌山県海南市藤白に居を構える。藤白神社近くに残る藤白鈴木家の屋敷は、全国の鈴木さんのルーツとされている。



海南市藤白に現存する「鈴木屋敷」

『速玉賞』ってご存じですか？

熊野速玉大社のある新宮市の商工会議所青年部は昨年、熊野速玉大社の協力を得て「速玉賞」を創設した。速玉というくらいだから当然スポーツの世界で速い球を投げる選手が対象になる。栄えある第一回目の受賞者はプロ野球横浜ベイスターズの、そう、あの時速 161 ㎞という日本のプロ野球界最高のスピードボールを投げたクルーン選手ということになった。

ここまでは意外にスムーズに進んだ。しかし果たして外国人選手のクルーンが日本の神社の賞を受け取ってくれるだろうか？が、この点はクルーン選手のOKがでて無事クリア。そして表彰式の当日、横浜球場を訪れた一行は驚いた。どこか応接室のようなところで表彰するのかと思いきや、案内されたのがスタジアムのバッテリーボックス。大勢の観客の目撃している前で、表彰ということになったのだが、さらに驚くべきことが…。両軍の選手たちがベンチ前で直立不動で並ん

でいるではないか。これはもう沢村賞並みの扱いということになる。しかもバックスクリーンのモニターには熊野速玉大社や新宮の名所が次々に映し出されている…。地元では今年の第二回目の速玉賞選考が始まっている。「速玉」にちなんで速い球の持ち主が対象になるが、それ以外にも陸上のスプリンター・F1レーサーなどスピードを競う競技の選手、はたまた「スポーツの神様」、「スポーツ上達祈願の神様」などにも広げるといふことだ。